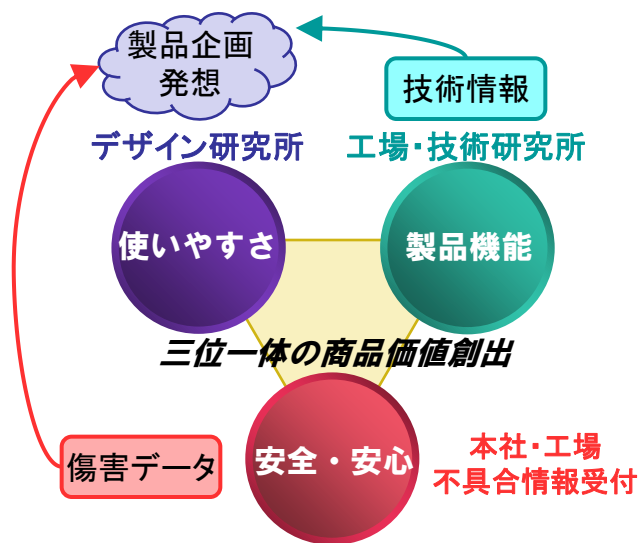


# 家電における、安全安心情報を取込んだ開発の「しくみ」構築と製品化研究(三菱電機株式会社)

## プロジェクトの目的

- 「安全・安心」「使いやすさ」「製品機能」の三位一体による製品企画のしくみの構築
- 三位一体の製品企画に生かすことのできる傷害データのあり方の検討



## 結果

- 生活実態調査により、各製品での誤使用やヒヤリハットを抽出
- 「操作できない工夫」「操作できる配慮」による誤使用の回避デザインや、「操作できない工夫」「使わせない工夫」による危険回避デザイン等のアイデアを創出
- リンケージ機能を有する傷害データの検索システムを開発(製品の属性から、その製品で起こりうる使われ方や事故の種類を検索可能なソフトウェアの開発)



## 実施方法

- 製品企画に生かすデータを検討するための生活実態調査(WEBを用いた調査)  
調査対象: 全国主要都市在住、子どもを持つ20-50代の主婦中心  
サンプル数: 145名 (第1回・第2回のアンケート調査合計)  
200名 (第1回・第2回の自由意見調査合計)
- 企画製品と関連する事故事例を見つけ出すリンケージ技術の開発

## 今後の展望・展開

- 三位一体のプロジェクト体制の構築と運用
- 製品企画における傷害データの利用